お客様各位

2026 年 10 月 22 日
株式会社知能情報システム

PHP の脆弱性に関する弊社の対応について

2026 年 10 月 21 日(水)、プログラミング言語 PHP に関する脆弱性の技術情報が公開されました。弊社の業務で使用しているファイル交換システム等のウェブ サーバーにおいても PHP を使用しているため、本件に関する弊社の対応状況をご報告いたします。

1. 脆弱性への対応

弊社では、当該脆弱性に関する事前の警告を受け、技術情報が公開される前の 10 月 21 日(水) 21 時頃に、予防的措置としてファイル交換システム等の全ウェブ サーバーを一時停止いたしました。

その後、同日 23 時頃に脆弱性の技術情報が公開されたことを受け、当該脆弱性を修正するセキュリティ アップデートを適用したうえで、サーバーの運用を再開いたしました。

このように、脆弱性の技術情報が公開される前にサーバーを停止し、修正を適用した後に運用を再開していることから、技術情報の公開後、修正適用前に当該脆弱性を悪用した攻撃を受けるリスクは回避できたものと考えております。

2. サーバーの安全性に関する調査

さらに、技術情報の公開前に当該脆弱性が悪用され、サーバーが侵害されていた可能性についても調査を実施いたしました。

具体的には、サーバーのアクセス ログおよびファイル システムの調査を行い、不審なアクセスやファイルの改変など、侵害の痕跡がないかを確認いたしました。

その結果、現時点において、サーバーが侵害されたことを示す事実は確認されておりません。

3. 現在の運用状況

弊社のファイル交換システム等は、当該脆弱性への対策を完了し、通常どおり運用しております。

弊社では、今後もセキュリティに関する情報の収集と適切な対策を継続し、お客様に安心してシステムをご利用いただけるよう努めてまいります。

お客様には、サーバーの一時停止によりご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上